



舞鶴最先端サイエンス研修



12月4日(水)～6日(金)、今年度も舞鶴最先端サイエンス研修を実施しました。この研修の目的は、大学での特別ワークショップ(以下、特別WS)の受講や科学研究機関等での研修、大学生との交流等を通して、

- ①科学技術に対する理解を深め、科学的リテラシーを養うこと
- ②科学的な見方や考え方、分析方法や研究手法を学び、課題研究に向けた素養を育成すること
- ③サステナビリティについて理解を深めること



にあります。今年度も生徒の関心は非常に高く多数の参加希望があり、選考を経て12名での参加となりました。行程の概略は以下の通りですが、今年度は東京大学での特別WSをプログラム化して3日間実施しました。

- | | |
|--------------|---|
| 1日目(12/4, 水) | 鹿児島空港→羽田空港→東京大学(LCSシンポジウム・特別WS等)→都内にて宿泊 |
| 2日目(12/5, 木) | 日本科学未来館 → エコプロ2019(於:東京ビッグサイト) → 都内にて宿泊 |
| 3日目(12/6, 金) | 東京大学(特別WS等) → 国立科学博物館 → 羽田空港 → 鹿児島空港 |

[生徒の感想から(すべて抜粋)]

1 東京大学



- ・フォアキャスト(課題解決型)とバックキャスト(目標追求型)の両方のシナリオ分析が大切。
- ・当たり前を疑うことの大切さ、それが真の解を見出す一歩であると学べたことが一番の収穫となった。

2 日本科学未来館

- ・高度な科学技術の発展に人間の知識や感覚は追いついていけないのだからかと不安に思いました。

3 エコプロ2019

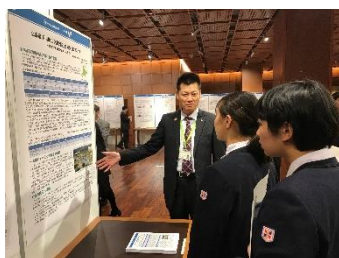
- ・SDG'sの1つである「つくる責任・つかう責任」という項目を、これからの研究の際に特に重視したい。
- ・発言者の言葉を鵜呑みにせず、本当にそれが今後の世界環境に役立つのか疑って質問する力を身につけた。

4 国立科学博物館

- ・倫理的な面についても説明がなされ、倫理問題はこういったところにも関わってくるのだと感じました。

5 全体を通して

- ・目に入るものの見方や捉え方が根本的に変わった気がした。(中略)何気ないことに疑問を持つことが新しい知識や発見につながるということも実感した。
- ・ライフサイクル思考、すべての視点から考えて研究してみたい。今まで思いつきもしなかった考え方を学んだので、それを早く試したい。



[LCSシンポジウム]



[特別WS]



[日本科学未来館]



[エコプロ2019]